

磐城時報

編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
電話 一四〇
廣告料 一行十四字（日）休刊

石城販賣利用組合で 聲明書を出す

片倉磐城製糸に關する 農村の誤解について

平町に設置する片倉磐城製糸會社は目下株式募集中の事、農家の如くであるが、その奔走は主として石城郡養蠶同業組合、あるが、農村では石城販賣利用組合も之れに關係し盡力してゐるが、如く誤解してゐる向きもあり、石城販賣利用組合は一例をあげれば出来るだけ高價に乾旋しやうとする養蠶家本位を主旨としてゐるに反し片倉磐城製糸會社は出来るだけ安い繭を買はうとする營利本意でその根本趣旨が相反してゐるのであるから、製糸會社の創設には何等無關係であるといふ事を農村に徹底せしむるため、十三日石城郡内各町村に左の如き聲明書を配布した（前略）

軍艦五十鈴

愈々明朝入港 二日間小名濱に碇泊 見物人多數に達せん

第三郡在郷軍人海軍兵の簡閲點於て百三十四名の在郷軍人の簡閲のため軍艦五十鈴が小名濱港に碇泊し、三郡各町村召集事務の檢閲あり午後一時から午後五時、五十鈴は十三日午後四時まで一般の觀覽を許し午後六時、碇泊して宮城縣女川港に向かう。碇泊して午前九時から午後四時、一般の觀覽を許す。小名濱町では海岸にバラックを建て午後七時から艦長領事大佐以下乗組員を招待し盛大な歓迎會を催す。同日に同所於て軍樂隊の奏樂、活動寫眞等の催しがある。十五日は午前九時から午後一時まで艦上にて石城地方では今や常磐屈神の慰安ともなれば危険防止に

鑛業稅

三萬余圓滯納

指の大會社すら往々經營困難の憂目に遇つてゐる有様この傾向は需要薄の昨今において一層深刻なるものあつて個人經營の小炭礦等における慘狀まことに氣の毒なるものがあるが、これがため四月までに納付すべき鑛業稅を滯納せるもの十數件稅額三萬余圓に達したので平稅務署において最近一齊に鑛區の差押へ處分を斷行し極力その納入を督促してゐるが當面の納税に對して如何とも方法のつかぬ向もある局でも頭痛紛々の体である。

ツルハシで 頭部を突き刺す

内郷村大字白水磐城炭礦鑛坑を充分に貯藏して市價の高低緩急に應ずる事が出来るので同社の營業料中最も有利な事業と目せられてゐると同時に一般需者にとつてもその利便少からず大いに將來を嚆目されてゐるが同社における今年度の冷凍計劃を聞くに

磐城水産工業の 冷凍事業

昨今の如き豊漁期に際し漁獲物に貯藏する事は既に豫定數量に近き貯藏をしたものもあり今夏貯藏魚の藏出しによつて一般川に老妻の死体が浮き上つてゐる消費者は季節外れの珍味に舌をうつ事が出来るわけである、因通し合はした神谷村佐藤松五郎に該魚類は、ふり一萬五千尾を

婦人の坑内稼ぎは 五年後には出來ぬ

鑛夫扶助規則改正 石城で浮び上る數千五百名

鑛山に於ける女子年少者の深夜も多大の力あつたものである、業坑内労働の禁止及び一般労働者の就業時間制限等を規定すべし實現された職杖愛か否かは知らず鑛夫扶助規則の改正に關する一層殺伐な氣分が濃厚になつたが、この規定により石城地方に最も關係深きは女子の坑内五ヶ年間の猶豫期間があるから労働の禁止である、この禁止に早急行はれる譯でもなくその間には内郷六〇九人、小野田二二三人、福島一〇八人、小田第二一人、入山二七八人などである

巡查教習生 軍艦視察

福島巡查教習所生二十一名は阿久津教官引卒の下に十三日午後七時來平十四日は小名濱町に至り軍艦五十鈴を參觀する。

鑛業講話會

石城郡養蠶同業組合勿來支部では二十四日同村小學校で鑛業講話會を開く。

預金の賣買に應じます

取扱ひは親切迅速
平町 仲田町
株式會社
電話 四六五番

坑内で 鮮人負傷

古河炭礦水崎ヨリ（七〇）と稱して平町鎌田町木賃宿三河屋に投宿した事のある女で生活難のため悲觀の自殺を遂げたものらしい。

齒科醫師會 支部設立認可

齒科醫師會磐城支部は今回平町五丁目三番地に設立する事を認可されたが區域は濱三郡である

夏井川に 老婆の死体

夏井川村大字山崎字懸戸地内夏井川に老婆の死体が浮き上つてゐるのを十二日午前七時頃附近を通過した神谷村佐藤松五郎が發見届け出たので平澤齋藤

四時頃同僚坑夫朴泰文（二七）と共に入坑炭車押作業中第一本線右九坑道に差かゝつた炭車脱線したので車輪を押し上げ其まゝ炭車と坑壁の間に頭部を挟まれて昏倒直ちに手當を施したが生命危篤である。

